

8月の日経平均株価

8月の日経平均株価は月末終値が7月末に比べ 196 円 18 銭(1.26%)安の 1 万 5424 円 59 銭となった。月間ベースでの下落は4カ月ぶり。米国によるイラク空爆などで国際情勢が緊迫し、リスクを回避する動きが強まった。11 日から 21 日にかけて、円安などを支えに 2013 年 12 月以来の9日続伸を記録したものの補えなかった。夏休みシーズンでもあり売買は低調。東証1部の1日平均の売買代金は、活況の目安とされる2兆円を5カ月連続で下回った。

今月のトピック: 日経ジャスダック平均、8年ぶり高値水準に

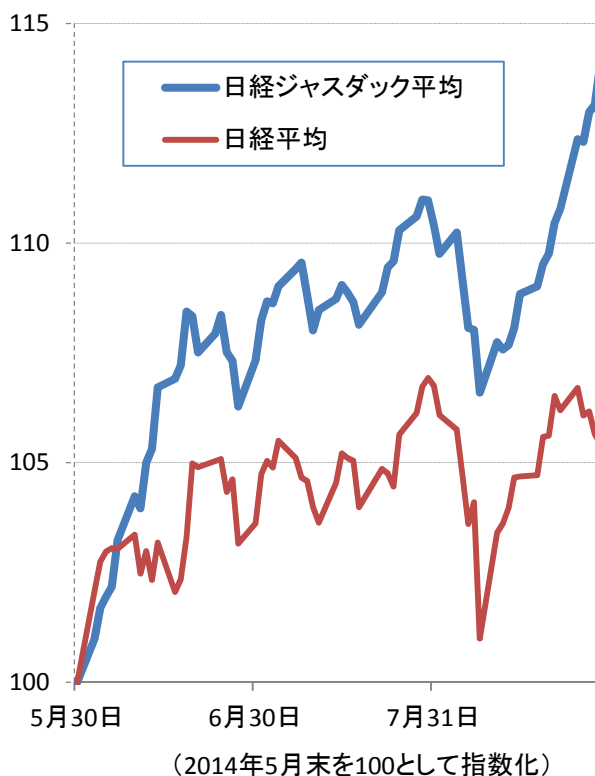
日経ジャスダック平均株価が堅調だ。8月末終値は 2292 円 08 銭と連日で今年の高値を更新し、2006 年 8 月 24 日以来、約 8 年ぶりの高値水準となった。地政学リスクの高まりなどで外国人投資家の買いが細り、東証 1 部の主力株は上値が重くなっている。このため、値動きの軽さに着目した個人投資家が新興市場に資金を投じている。ジャスダック市場に上場する銘柄は内需系が多いうえ、外国人投資家の保有比率が相対的に低く、海外要因に左右されにくいことも個人の買い安心感につながっているようだ。

図1は5月末終値を 100 として日経ジャスダック平均と日経平均株価を指数化し、グラフにしたもの。6月中旬以降、日経ジャスダック平均の堅調さが顕著になり、8月は一段と鮮明になったことが分かる。日経ジャスダック平均の8月末終値は5月末に比べ 14.1%高。5.4% 高にとどまる日経平均を大きく引き離れた。

これを支えたのは個人投資家の積極的な買い。東証が発表している投資部門別売買動向によると、ジャスダック市場では、個人は 8 月 3 週まで 10 週連続で買い越している。一方、東証 1 部では 8 月 2・3 週に売り越しに転じている。足元では個人が主力株で利益確定売りを出して、新興市場に物色の矛先を移していることが鮮明だ。

新興市場に詳しいある市場関係者によれば「ゲーム関連やバイオなど、このところの新興市場は好材料が目白押し。ある銘柄の上値が重くなっても、すぐ別の銘柄に買い材料が出て、個人は資金の回転が効いている」と解説する。これがジャスダック市場全体を押し上げている形だ。

図1: 日経ジャスダック平均の堅調さが目立つ



過去にも主力株が手がけにくい地合いでは、ジャスダック銘柄など小型株が幕あいつなぎ的に手がけられる例はあったが、前述の市場関係者は「自己資本利益率(ROE)が高いなど内容のいい銘柄が買われている」ことが過去とは異なる特徴という。

例えば、8月に株価が約3倍になり、上昇率がジャスダック市場でトップだった不動産事務代行のエスクロー・エージェント・ジャパン(エスクロAJ、6093)の実績ROEは約20%。2015年2月期は上場費用などがかさみ減益見通したが、売上高経常利益率(前期実績)も25%と高い。上昇率2位のプレジジョン・システム・サイエンス(7707)、3位のアイサンテクノロジー(4667)もROEは2ケタ台に乗せている。

ただ、ジャスダック市場全体の株価収益率(PER)は8月末時点で16.22倍と、東証1部(15.75倍)や日経平均採用銘柄(14.84倍)を上回っている。エスクロAJのPERも67倍だ。

割安感が薄れているだけに、今後は上昇相場の持続性が焦点になりそうだ。

表：日経ジャスダック平均構成銘柄の
8月の月間上昇率ランキング

順位	銘柄名	上昇率(%)
1	エスクロー・エージェント・ジャパン	193.2
2	プレジジョン・システム・サイエンス	109.8
3	アイサンテクノロジー	94.9
4	テックファーム	92.5
5	メディアグローバルリンクス	85.7
6	オールアバウト	84.4
7	ドーン	72.9
8	横田製作所	68.5
9	イーター電機工業	64.2
10	イメージワン	62.3
11	サイネックス	59.3
12	朝日ラバー	58.5
13	アテクト	53.1
14	鋳研工業	51.1
15	ビーマップ	48.5

日経指数月次サマリー(2014年8月)

○日経平均およびその派生指数 (データは8月末時点)

指数名	指数値	月間騰落率	平均リターン	標準偏差	年初来高値	同日付	年初来安値	同日付
日経平均株価	15424.59	-1.26%	0.07%	1.23%	16121.45	1月8日	13910.16	4月14日
日経平均トータルリターン	22539.31	-1.20%	0.07%	1.24%	23327.25	1月8日	20271.52	2月4日
日経平均ボラティリティ	15.94	-0.50%	-0.13%	4.89%	33.21	2月4日	14.00	7月17日
日経平均VI先物	42901.64	-13.44%	-0.40%	2.12%	97741.36	2月4日	42810.75	8月28日
日経平均カバードコール	13963.46	-1.01%	0.08%	1.07%	14124.74	7月30日	12348.19	2月4日
日経平均リスクコントロール	15725.36	-2.26%	0.03%	0.69%	16161.58	1月8日	14898.08	4月14日
日経平均レバレッジ	10093.47	-2.70%	0.13%	2.47%	11295.91	1月8日	8275.01	4月14日
日経平均インバース	3258.69	1.07%	-0.07%	1.23%	3651.06	2月4日	3193.30	1月8日
日経平均ダブルインバース	5063.34	1.94%	-0.13%	2.47%	6467.31	2月4日	4942.65	8月25日

指数名	指数値	昨年比	最高値	同対象年	最安値	同対象年
日経配当指数	134.06	14.96%	134.06	2014	48.97	2002

○ベンチマーク、その他指数

指数名	指数値	月間騰落率	平均リターン	標準偏差	年初来高値	同日付	年初来安値	同日付
JPX日経インデックス400	11594.65	-1.19%	0.07%	1.08%	11800.26	1月8日	10314.83	4月14日
日経株価指数300	257.09	-1.50%	0.06%	1.09%	265.90	1月8日	229.49	4月14日
日経中国関連株50	1354.68	-1.45%	0.06%	1.10%	1399.88	1月8日	1220.64	2月4日
日経500種平均株価	1345.96	-1.02%	0.08%	1.08%	1364.78	8月25日	1191.33	2月4日
日経JAPAN1000	1506.24	-0.95%	0.07%	1.10%	1541.51	1月8日	1335.72	4月14日
日経ジャスダック平均株価	2292.08	3.37%	0.11%	0.80%	2292.08	8月29日	1890.85	5月19日

注：平均リターン、標準偏差は過去1年の日次騰落率から算出

日経配当指数の昨年比は昨年8月末時点との比較、最高値、最安値は1998年以降の同時点の比較

【ディスクレマー】本資料は信頼できると思われる各種情報、データに基づいて作成しておりますが、その正確性、完全性などに対して日本経済新聞社(日経)は責任を負いません。また本資料に記載された情報を利用したことにより発生するいかなる費用又は損害について、日経は一切その責任を負いません。本資料は、常に最新の情報に更新されていることを保証せず、また予告なく変更することがあります。本資料の一切の権利は日経に属しており、本資料を無断で転載したり第三者にコピー等を流布することを禁じます。